

サテライト おれんじドア

いつでも、
どこでも、
足を運んで、
聞く、話す。



「おれんじドア」は、認知症と診断されたご本人たちが集い、交流できる場。認知症になっても“できること”に目を向け、社会と繋がりながら支援することを目指しています。

集うことで、

1. 自分たちの意見や気持ちを共有する。
2. 皆と出会い、共感し、孤独感を軽減する。
3. “できること”の再発見と自信を取り戻す。
4. 認知症への理解を深め、地域全体で支え合う“共生社会”の実現に貢献する。

私は、ほっかいどう希望大使（認知症本人大使）の松本健太郎です。若年アルツハイマー型認知症です。仕事と大使の活動を両立しながら、新しい認知症観の啓発に取り組んでいます。本人同士の交流は、理解し合える場であり、明日からの生活に勇気と希望をくれます。砂川市を拠点に道内どこでも伺います。

お問い合わせ ほっかいどう希望大使支援者 大辻誠司

seiji.psychiatric@gmail.com